

しでがの通信
第 57 号
羽津小 P・T・A
編集発行
発行所 羽津小学校

省りみて思うこと

P T A 会長 谷 嘉 昭

春の訪れとともに、五十一年度も余り少なくなりました。大任を仰せ付かって一ケ年、あわただしいうちに月日のみ経過致しました。しかし、会員各位の御協力により諸事業も無事消化させて頂くことができ厚く御礼申し上げます。年度末にあたりいまだ一度 P T A 活動をふりかえり、どのような足跡をのこすことができたかと省りみたいと思います。

私は年度始めの総会の席でお願い致しましたように、まづ多くの皆様に参加をいただき、その目的であります「家庭と学校と社会」に於ける子ども達の健全な成長に努めてまいりました。子どもの健全やかな成長は親の切実な願いであり、社会や国家の願いでもあり、その親の願いや期待をどのように

進めるか話し合い理解と連帯を高めながら現代の児童生徒の健全育成のため次のようなことが論議されました。

一、現代子はテレビ等マスコミの氾濫するなかで家屋内にとじこもってひ弱な、しかも孤獨な子どもになりがちである。

二、社会の大きな変化により親子間に意識のずれがあり親はもっと子ども自身を深く知る必要があるのではないのか。

三、不良図書、がん具等自動販売機等による無差別販売をはじめ子ども達を取りまく社会環境は、ますます悪化する傾向にあり校外での教育環境の改善をどう進めたらよいのか。

以上のような問題が、今日子ども達の健全な育成をはばむ要因に

目 次

省りみて思うこと	1
門出にあたって	2
卒業生に贈るひとこと	2
巣立ちのことば	5
専門部・今年度の反省	16
P T A 中間会計報告	19

なっていると話し合われてまいりました。そしてこの問題点をどのように解決をはかるのか、月例の常任委員会等の席で具体策について討議されたようなことを努力目標と致しました。

ひ弱な子ども達を「強い子、羽津の子」を合言葉に集団での体力づくりとして全校児童に朝のかけ足運動の実践を学校に提案致しました。また地域の有害図書、不良がん具類の自動販売機等設置者に対して自粛の要望の運動を展開し、子ども達に有害な影響を与える社会環境の浄化にも努めてまいりました。P T A に課せられた課題はまだまだ広く深いものがあります。

「自分の子どもさえ」と言うような偏見の考えを無くして、もっと全会員が参加して学校ぐるみ、地域ぐるみの活動を必要と考えます。最後に卒業生の皆様にごところからお祝いを申し上げます。楽しかったこと、つらかったこと、色々学んだことを忘れずに何ものにも負けない、たくましい心と決し

てくじけない強い人間になって下さい。

一年間の反省

副会長 伊東 礼子

五十一年度を、顧みて今年も又反省の時期がやって参りました。卒直な所、私自身此の一年間反省の連続で有りました。P T A は、本来親と教師の学習の団体で有るのですが、現実問題として、現代社会の中で、親も教師も山積している諸問題を抱え、真に P T A 活動に参加し、実践して行く事は大変難しいのが実情の様です。そういう中で、五十一年度も、会員の皆様の尊い御協力を得まして、教育環境の整備、教育施設、設備等の充実に、奉仕して下さった意義は大変大きいと思います。最近よく聞く言葉に、協調と連帯の精神と言う言葉が有りますが、P T A 活動も真に其の通りだと思えます。

門出にあたって

学校長 村 木 明 義

少教役員のPTAであってはならない、末端会員がこぞって参加しうる意義の有る行事とは……。

又、考えてみると、父母がPTAに来て何かを学ぶ事は、立派な社会教育としての価値が有るのではないだろうか。現在の羽津小学校PTAは、千名近い会員を有し力もだんだん強くなり、最近色んな意見を聞く様になって来ました。本来PTAが圧力団体になったり、学校人事に口を出したりするのは、好ましいとは思いませんが、口を出さずにすむ様な教育の環境

であってほしいと思います。現在の羽津小学校は、諸問題をたくさん抱えて(例えば、プール建設、体育館建設、小学校分離等)行政機関などへの陳情等、今後のPTA活動は大変重大だと思えます。それ故に、五十二年度も良き、リーダーを選出され、主体性の有る民主的な活動を実施されん事を、大いに期待してやみません。最後に諸先生方の御協力と、会員各位の暖かい御協力を心から御礼申し上げますと共に、皆様の御健康を御祈り致します。

第一に、その日のことはその日のうちに

「明日ありと思う心のあださくら夜半にあらしの吹かぬものかは桜の花がきれいに咲いたので、花見に出かけたが、今日は都合があるので明日にしようと思っていると、夜中にあらしがあって、昨日まできれいに咲いていた花がみちち折角のもくろみも駄目になっちゃったとの意味ですが、中学生生活での学習で、特に今日しなければならぬことを、まあ明日でもできるからということではいけないといういましめの歌です。これは、学習だけではなしに、今後社会人となって、どんな仕事をやる場合でも、大変大切なことです。

第二に、感謝の気持ちを忘れないことです。皆さんが、なに不自由なく生活ができ、こうして中学校へ進むことができるのも、ご両親はじめ、先生、友だち、そうしたたくさんの人たちがつくる、社会と四季それぞれ、豊かにはぐくむ自然の恵みではないでしょうか。私も平和で、幸せな毎日を中心に感謝し、私どもの使命である立派な中学生として、勉強にはげんでください。

第三に、健康です。いくら頭脳がすぐれても、病弱な体では中

卒業生に

贈るひとこと

職員から



教頭 小塚久美雄

辛苦を避けるのでなく、それを耐えぬく強い人になってください。



卒業生の皆さん、六カ年の小
学課程を終えられ、立派に卒業
心よりお祝い申し上げます。

皆さんが、おかあさんに手をひかれて学校の門をくぐられたのが今から六年前、その間、雨の日も風の日も勉強に通い続けられた羽津小学校。あの教室で、あの運動場でと、楽しく遊んだことや、苦しかったこと、六カ年の思い出は尽きることがないと思います。この間、学校での生活で、たくま



六年一組 志村 量勝

きみのせいっぱい生きた、活動した、考えた一日にしていこう。



六年二組 水谷きみ子

自分の目で見、自分の耳で聞き、自分の足でたしかめて前進を。



六年三組 仲村ゆき子

「努力は富なり」どんな財産よりも価値のあるものです。



六年四組 水谷 敏夫

長い人生健康第一。そして、努力、努力また努力。



六年五組 田岡美智子

祝卒業。ひとりひとり、たしかな道を、一歩一歩前進してください。



五年一組 森 昭雄

しい体と、豊かな精神がそでられました。

しかし皆さんの人生はこれからです。楽しいこと、苦しいこと、さまざまな出来事がこれからうちよせてくることでしょう。

この四月からは、希望の中学校に進んでもらわなければなりません。中学校生活は、小学校とちがって、勉強も一段とむづかしく、生活もすべてがきびしくなっています。

そこで、今集立っていく皆さんに次のことばを贈りたいと思います。

御卒業をお祝いで、「心に太陽を持って」のことばをお送りします。



五年二組 菊村 文子

卒業おめでとうございます。心の温かい人間になりましょう。



五年三組 伊藤 美穂

昨日より今日。今日より明日と、毎日の積み重ねと前進を期待して。



五年四組 三村 恵子

希望という名の階段を、元氣いっぱい さあ のぼろう。



五年五組 水谷 孝子

自分に厳しく(心の強い人になってください。)



四年一組 小谷 博美

卒業おめでとう。これからは、真の自分の力をためす時です。



四年二組 大河内そゑ

何につけても「仕方がない」という人間ほど仕方ない人間はない。



四年三組 山田 芳枝

人には暖かく、自分にはきびしく生活し、よき中学生となつて下さい。



四年四組 服部あさを

卒業おめでとう。初心忘れず努力してください。健康を祈ります。



四年五組 川村 審也

人生には苦しいこともあります。乗り切るのは、あなたの力だけ。



三年一組 浜野佐都子

羽津の自然と伝統をだいにしして心正しい人になってください。



三年二組 矢田 木角

学校生活も楽しく送ることができないばかりでなく、上級の学校へ進んだり、社会人となつても思っていることが出来ません。今は特に発育盛りの皆さんです。どうか、クラブやその他運動に、進んで参加し自分の体をきたえるようにして下さい。

皆さんが中心で活躍した少年野球で春・秋の連続優勝も、野球選手の人々が、機会ある毎にからだを鍛え、技をみがく為に一生懸命に努力をした結果だと思えます。どうか中学校生活を、羽津小学校の卒業を誇りとして頑張ってください。私も羽津小学校の職員は、皆さんの今後の活躍を心から祈っています。

御卒業おめでとう。中学へ行ってもしっかりがんばってください。



三年三組 平井みく子

ご卒業 おめでとうございます。体に気をつけて頑張ってください。



三年三組 平野 隆子

毎日の生活は計画的に、一つの事を永続するよう努力して下さい。



三年四組 服部みさを

自分で決めたことは、必ず実行できる子になって ください。



三年五組 広瀬 松代

自分の将来を考え、真げんに勉強に はげんでください。

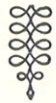
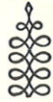


二年一組 鏡味 隆雄

「人生に卒業はない。」自分の道を見つけなさい。

巣立ちのこ と ば

＝ 子らの希望 家族の願い ＝



二年二組 吉岡 照代

卒業おめでとう。いつも明るく、考える時は、ねばり強く。



二年三組 筒井 和子

卒業おめでとう。いつも明るく、いつも、挨拶の、できる子に。



二年四組 溝口 保子

卒業おめでとう。ごさいいます。「男らしく。」「女らしく。」



二年五組 小林 久美

健康が第一です。体力づくりに、心がけてください。



一年一組 平子伊都子

いつも笑顔で、心にゆとりを、もって、事に、あたりましよう。



一年二組 興梠 尚子

ご卒業おめでとう。時々、小学校のことも、思い出して下さい。



一年三組 斉藤 雅子

一つ一つの出会いを大切にしたいですね。



一年四組 小林 秋次

生意気になるな。おてんばになるな。いつも、つましくあれ。



一年五組 小林 るみ

より、かしこく、より、やさしく、より、たくましく。



音楽専科 山本 滋代

「心に太陽をもち、くちびるに歌をもつて」勉学にはげんでください。



体育 豊島 久雄

子どもらしい明るさ、あいらしさを、いつまでも。



専科図工 内山 治男

ご卒業おめでとう。友情を信じ、常に自己を磨け。



養護 伊藤 光子

卒業、おめでとう。いつまでも心の健康を大切に。



事務 太田 久子



事務 川合 淳子



用務員 水谷富美子

ご卒業おめでとう。不断の、経験の、更新を、



給食 市川 禎子



給食 川北 喬子



給食 後藤 文子



給食 大河内サト



給食 伊藤よ志子

ご卒業おめでとう。いつでも自分と、まわりの人をたいせつに。

ありがとうございました

◎ 児童の情操教育の一助として、過日、温室用、観葉植物約五〇鉢と温室内の花壇二棚を、羽津第一、森憲一氏より寄贈していただきました。にぎやかになった温室を見て、児童一同大変よろこんでいます。

◎ 学校図書館へ、童話集全三〇巻を、大宮西町、中福一成氏より寄贈していただきました。図書不足の時だけに、児童の読書欲を高めるためにも大変有難く存じます。以上両氏に厚くお礼を申し上げます。とともに、皆様にお知らせ致します。

六年一組

中学に、入学してからも、がんばります。
いよいよ中学に、入る事が出来て、がんばって下さい。

久保 直樹

すぎさった六年間、今は、思い出をあとにして、小学校を卒業する。沢山やりたいことがある中で、自分にとって何が大切かを、考えよ。

川嶋 勉

小学校ともお別れでいよいよ中学生、希望をもって前進するのみ。小学校卒業おめでとう。友達を大切に暖かい人間になってほしい。

広瀬 圭吾

中学校は、今までより、勉強が難かしいが、精一杯がんばりたい。卒業おめでとう。これからが大変ですね。精一杯がんばって下さい。

長野 洋二

恵まれた六年間、ぼく達は、巣立つ。先生の教えは忘れません。

小学校で得た知識を基礎に、更に努力して創造力を伸ばせる様に。

父 茂之

中学生になっても、がんばります。六年間お世話になった小学校生活、色々な思い出を大切にします。

父 健市

苦しい時も、悲しいことも今の思い出は楽しい事ばかり、浮かぶ。自分の年を忘れわが子の巣立ちを喜んで良いやら悲しんで良いやら

吉沢 一夫

ほかの、学校の人とべんきょうができるのでとてもうれいす。長い小学校生活をえて中学校に進学する事がとてもたのしみです。

父 政一

自分が正しいと思っただ道をまっすぐにすすみたい。美しいやさしい心を、中学生、大人になっても、大切にして下さい。

母 孝子

何事も、最後まで、やりとげたいと思う。

小学生生活に培った心をさらに伸して行ける様に見守って行きます。

父 富春

今まで、学んだことや先生の教えを、忘れずいっそう努力します。校長先生はじめ諸先生長い間お世話になり厚く御礼申し上げます。

父 忍

中学生になると、いろいろな事があるだろうけど、がんばりたい。将来必要なのは、結局、体力と根生だと思ふ。体力作りに全力を

父 勝

いままでお世話になった先生方、ありがとうございます。これからは中学生。責任を持った行動をしよう。

父 晃

桜の咲く四月に入学してもう六年卒業して行くのが少しさみしい。体の弱った子が皆様と共に卒業出来る事は親として本当にうれいしく思います。

父 晃

中学生になるのがうれいす。

これからもがんばる。
親 唯一日片時も怠けることなく根気を尽し強く正しく生きること。

久志本雅章
卒業、もうすぐ中学生、中学校に行っても力いっぱいがんばります。

親 六年間の思い出を後にして、よき中学生になってもらいたいです。

今村 任毅
卒業してからも、いろいろなことをがんばります。

父 英治
卒業おめでとう、一步一步確実に大きく育て、たくましく。

高橋 準二
中学生になったら、今よりもっともっとむずかしいががんばろう。

父 清次
心を大きくもち伸び伸びと、皆さんと仲良く出来る事を望む。

寺内 正郎
小学校を卒業してちょっぴりさびしいけれど中学になってもがんばる。

父 阪二郎
祝卒業、いよいよ中学生だね、健康に注意して大いにがんばりましょう。

浜野 実

早く中学生に、なりたい気持ちで、いっぱいです。

母 久子
羽津小学校での思い出を大切に、「強く」、「明るく」、前進しましょう。

横田 武司
ぼくは、体が弱いで、中学生になつたら、もっと運動しよう。

親 歴史は進む雲の流れに、そして新しき雲に乗った。

広瀬 直仁
六年間の出来ごとをよい思い出にしたいと思います。

母 元気で卒業できますことを、うれしく思います。

小松 和明
長かった六年間だった。

母 つや子
小学校生活ももう終りですね。中学生めざしてがんばって下さい。

阿部 恵子
私は、こんなに大きく成長しました。父さん母さん先生ありがとうございます。

父 勲
自分の行動に責任を持って

中森千都世

先生本当に長い間ありがとうございました。中学校になっても忘れません。

母 美代子
本当に長い間子供がお世話になりました。ましてありがとうございます御座いました。

森 洋子
羽津小学校はこれからどんどんと変わっていくだろう。

母 早苗
みんなの行く道はかわしいけれど悔いのない日々を送ろう。

渡辺 直美
六年間いっしょにすごした小学校をあとにして私達は卒業していく。

母 千代子
羽津小学校の校庭に桜の花が咲くと共に懐かしき母校を後にする娘

林 久美子
羽津小学校の先生がた、六年間どうもありがとうございました。

父 清吉
小学校でできた体で、目標めざし、希望に胸ふくらまし進んで下さい。

藤井みゆき
今までとちがって一つうえにあがり中学生だがんばろうと思った。小学校を終り、中学生になり、中

学生らしくなってね。

小川 佳子

先生方の恩に感謝し、一日一日を大切に、中学生生活を、送りたい。

父 良二
人生には晴れの日も雨の日もある未来に希望をもって前進してほしい。

添 ひとみ
六年間の思い出を、忘れずに、これからも がんばります。

母 久子
六年間、学んだ教えを忘れず、いつまでも、素直な子であってね。

渡部美乃里
はや、六年たちもう中学生です。勉強、運動共がんばります。

母 ひろ子
中学生になったなら、中学生としての自覚を持って頑張ってください。

小川千恵子
新しい希望を胸にひめ中学校へ一歩前進、さあやるぞ……

母 桂子
しっかりと目標を定め、地道な努力を積重ねて、確実な歩みを、

父 藤男

伊藤 雅広

ぼくは、小学校生活の思い出をだいて、すくすくと育っていきます。

母 自己を磨き、人を愛する事を忘れずに、精神努力致しましょう。

黒神 智明
中学生になっても小学生のときにいた、友達のこと、忘れない。

親 卒業おめでとう。これからは、心も身体も鍛えて、成長して下さい。

横井 郁雄
小学校を卒業して中学校へ入學しても友達と友情を大切にしたい。

父 若き日は人生の土台築く時自由とは相対的責任と嵐に負けぬ忍耐を

山本 俊弘
全力投球の六年間とはカッコイイが未来は希望でいっぱい。

母 百合子
健康に気づかい早や十二年、楽しい思い出が走馬燈の様に去来する。

父 井上 雅之
六年間の楽しい、思い出を忘れず、明るく中学生を送りたい。

卒業おめでとう、六年間の勉強を土台にして中学生生活をがんばれ、

大森 玲子
この六年間の思い出は、一生よしい思い出として心に残るであろう。

父 治彦
身体は、野蛮人であれ、頭脳は、文明人であれ。

杉本たえ子
もうすぐ中学生、やりたいことがいっぱい、早くになりたい中学生に

母 昭子
思い出多い六年間、この思い出を大切にしたいとおもう。

伊藤 雅子
この六年間のいろいろな出来事は一生のよき思い出となるだろう。

親 小学校で、学んだ思い出は人生の門出の基礎であり出発である。

松永 直美
楽しかった、小学校生活。もう帰ってこない。悲しいな。

父 伊平
六年間あまりにも早すぎた。これからは、善悪の判断出来る強い子

黄田 恵子
六年間の学校生活をいかして、勉強に運動に一生懸命がんばります。

母 美知代

三度の転校にもめげず素直に育ってくれました思い出やしも忘れずに。

坂倉 好枝
羽津小学校で、学んだ事を、中学校で、役立てたいと思います。

父 昇
先生には長々と御世話になり子供も一生忘れる事はないでしょう。

母 四郎
六年間無事元気で通学学び卒業出来先生方始め関係各位に感謝する。

父 長島真奈美
何事にも積極的に参加し、多くの友だちを、つくりたい。

母 みさを
素直さのなくなる年頃、「素直になる心。」を忘れずに。

葛山 美和
小学校生活の中での思い出六年生もうすぐ卒業していく。

石井 望
六年間、いろいろお世話に、なりました。

父 石井 望
先生どうもありがとうございます。

中森千都世

先生本当に長い間ありがとうございました。中学校になっても忘れません。

母 美代子
本当に長い間子供がお世話になりました。ましてありがとうございます御座いました。

森 洋子
羽津小学校はこれからどんどんと変わっていくだろう。

母 早苗
みんなの行く道はかわしいけれど悔いのない日々を送ろう。

渡辺 直美
六年間いっしょにすごした小学校をあとにして私達は卒業していく。

母 千代子
羽津小学校の校庭に桜の花が咲くと共に懐かしき母校を後にする娘

林 久美子
羽津小学校の先生がた、六年間どうもありがとうございました。

父 清吉
小学校でできた体で、目標めざし、希望に胸ふくらまし進んで下さい。

藤井みゆき
今までとちがって一つうえにあがり中学生だがんばろうと思った。小学校を終り、中学生になり、中

学生らしくなってね。

小川 佳子

先生方の恩に感謝し、一日一日を大切に、中学生生活を、送りたい。

父 良二
人生には晴れの日も雨の日もある未来に希望をもって前進してほしい。

添 ひとみ
六年間の思い出を、忘れずに、これからも がんばります。

母 久子
六年間、学んだ教えを忘れず、いつまでも、素直な子であってね。

渡部美乃里
はや、六年たちもう中学生です。勉強、運動共がんばります。

母 ひろ子
中学生になったなら、中学生としての自覚を持って頑張ってください。

小川千恵子
新しい希望を胸にひめ中学校へ一歩前進、さあやるぞ……

母 桂子
しっかりと目標を定め、地道な努力を積重ねて、確実な歩みを、

父 藤男

伊藤 雅広

ぼくは、小学校生活の思い出をだいて、すくすくと育っていきます。

母 自己を磨き、人を愛する事を忘れずに、精神努力致しましょう。

黒神 智明
中学生になっても小学生のときにいた、友達のこと、忘れない。

親 卒業おめでとう。これからは、心も身体も鍛えて、成長して下さい。

横井 郁雄
小学校を卒業して中学校へ入學しても友達と友情を大切にしたい。

父 若き日は人生の土台築く時自由とは相対的責任と嵐に負けぬ忍耐を

山本 俊弘
全力投球の六年間とはカッコイイが未来は希望でいっぱい。

母 百合子
健康に気づかい早や十二年、楽しい思い出が走馬燈の様に去来する。

父 井上 雅之
六年間の楽しい、思い出を忘れず、明るく中学生を送りたい。

荒木 良浩
いつでも友達にすかれる明るい少年になりたい。

母
人のことばに左右されず信念を持って自分の道を切りひらいていく。

杉村 雄三
ぼくの前には険しい道と高い山が待っている。がんばります。

父
転校生を温かく迎えて下さり楽しく卒業出来ますことを感謝します。

谷口 勝浩
中学生時代も、力いっぱいがんばろう。

父
小学校卒業おめでとう。これから真直ぐ大きく育って下さい。

堀野 直材
思い出多い六年間、お世話になった先生有りがとうございました。

父 晴義
卒業おめでとう勇気と希望を持ち中学校に進んでほしいと願う。

筒井 康夫
先生、六年間有がとう。中学校になったら、いっそう頑ばります。

父 秀昭
卒業おめでとう、この六年を基として大きく伸びる事を期待する。

瀬尾 卓弥

小学校生活を大切にしよう。体を大切にして勉強に励んでほしい。

山本 長俊

まじめに、なにごとに責任をもっていく。

母 公子
健康であるように責任感の強い子供に育って行くように母の願い。

森 秀和
中学になったら今まで以上にがんばります。

母 美智子
将来どんな困難にも負けず希望と勇気を持って頑張ってください。

松永 清彦
これからは、新しい気持ちで、勉強、運動にはげよう。

父 清一
旧入学時父が祝った詞『柔弱なる味方より真剣に刃向う敵を愛す』

林 保徳
中学生になったら勉強、運動に小学生の時よりもがんばります。

父 茂男
校長先生ならびに先生方、長い間お世話になり有難う御座居ました。

柏木 伸之

中学生になっても小学校生活を思いうかべてがんばろう。

母

小学生の経験を生かし中学生になったら大いにがんばりましょう。

常盤井春幸
六年間の楽しい思い出は一生忘れません。羽津小学校よありがとう。

祖母 ひで
むつとせのはぐくみ嬉しいとし子は、今すこやかに学舎を去る。

水谷 順一
先生ありがとうございました。中学校に行つてがんばります。

村上とよ子
先生方のおかげで多くの知識を学びました。ありがとうございます。

母 千恵子
六年間先生方の指導で子供が大きく成長しました。心から喜んでいます。

山田 恵子
六年間、私を見守ってくれた、校庭の桜、大きな松 ありがとう。

母
目標に向かって 進めるような立派な人間になって下さい。

木村 尚代

放送室にあるスタジオの人工芝を一度でいいからふんでみたかった。

母 須美子

常にベストを尽し逆境に遭遇してもそれに耐え幸せを知る人になれ

鈴木 智子
思い出多い校庭をあとに今希望にもえて巣立つ私達ががんばろう

母
六年間学んだことを忘れず気持ちを新たにしっかり勉強して下さい。

谷口 今日子
子供同志で地区外へ行けるのはいいけど、まだ小学校でいたい。

渡辺 清美
この六年間無事育てて下さって、先生方本当に有難うございました。

母 千代子
中学校になると遊んでいられないから、まだ小学生でいたい。

森 清美
羽津小学校の校庭に桜の花が咲くと共に懐しき母校を後にする娘ががんばります。

父 満吉
身心共に一段と飛やくする年を迎えた。自分に責任の持てる行動を望む。

増田 佐知子

小学生生活ともお別れ、中学生にやっと、なれるのでうれしです。

母

六年間学んだ事をもとに、一層努力して心豊かな子になって下さい。

神谷 あけみ

苦しいことが、あってもくじけず希望にむかって進みたい。

母 敬子

大きな希望をもって、何事も責任感を持ってほしい。

谷 佐知子

中学校にいてもがんばります。

母 とみ子

人と人とのふれあいを大切に、小さな親切を。

渡辺 佳代子

六年間、私達のめんどうをみていただきありがとうございます。

父

健康で卒業出来るのが、親としてもっともよろこばしい事です。

友永 孔美子

中学になったら、今までよりもっとがんばります。

母 愛子

卒業おめでとう。先生方を忘れずに中学生になっても頑張つてね。

伊奈くみ子

六年間の楽しい思い出。中学生へのあこがれで胸がいっぱい。

母

背中より大きなランドセル 今は背中の上にチョッコリ もう中学

近藤 三重子

とてもいい思い出ができて、ほんとうによかった。

母 フミエ

六年生のみなさんおめでとうございます。諸先生方御苦勞さまでした。

山下 早由里

中学校へ行ったら、何事にも積極的に自信を持って行こう。

母 佐代

娘もいよいよ卒業、親である私のほうが、感無量でございます。

根本 久美子

この楽しかった六年間の思い出を大切にしていきたいと思えます。

母 清恵

卒業おめでとう。心新たにし勉学スポーツ、青春をくいなく送ろう。

太田 かおり

羽津小学校のあの桜の花の美しい門をもうくぐれないなんて……。

母 捷子
六年間の大恩に対して、感謝と報恩の心を忘れてはならない。

仲村 ひろみ

なつかしい学校とお別れ。さみしい。でも希望を持ち努力します。

母

何事も、基礎の上に成立つ。希望の春へ 前進

樋口 久美

羽津小学校よ六年間の楽しい思い出をありがとう。

母 恵子

六年間で出来なかったことを、中学生になって実行して下さい。

掛下 みのり

私の心の中は、中学校への不安と希望でいっぱい。

母 佐智江

六年間の楽しい思い出を後に大きな心で中学生になって下さいね。

藤井 稚弓

短い中学校の三年間は、何が何でも勉強に全力をつくそう。

父 泰

六年間よく頑張ったね。自分の為の努力です。立派な人になってね。

駒田 晴美

私は、六年間の思い出を、大切に

して進学したいと思えます。

六年 三 組

ぼく達の学校を少しでもきれいにしてから卒業していきたい。

父 健一

立派な小学生で有ったという、自信を持って卒業して行って下さい。

田中 泰徳

自分達の理想の学校を作して下さい。数年後には世界一の学校を

父 秀男

今年の様にスポーツに勉強に中学校でもより一層がんばってほしい。

九鬼 史英

この学校はいつまでも清く明るい学校である様に。そして生徒達も

母 秀子

中学生としての、自覚をもって勉強に運動に 励んで下さい。

鈴木 善博

長い六年間が、終わって、これからの生活は、前進あるのみ。

長女、長男をして二男、十四年間お世話になり、たゞ感無量です。

母 多華子
伝統ある羽津小学校を美しくするようにして下さい。

母 弘子
おめでとう。先生初めお世話になつた方々への感謝の気持ちを忘れずに。

祖母
先生いろいろと悪い事を注意してくれてありがとうございます。

永い間わけ分らずの大ちゃんものお世話かけどうもありがとうございました。

小林 正幸
先生に教わった事をよく守り、中学でも一生懸命がんばります。

父 政司
卒業を前に子供の成長を見ますと先生方の御力と感謝致します。

石河 豊
お世話になった先生方、学んだことをいかし、がんばります。

母 あつ子
六年の月日は早いもので、晴れて卒業でき感謝の気持ち一杯です。

平尾 壽啓
これからも勉強にはげみたいと思ふ。

母 ハルエ
残り少ない三学期をやる気を出して勉強にはげんではないと思ひます。

安田 祥男
お世話になった先生や友達と別れ

母 そよ子
入學以来六年間お世話になった先生方に感謝の気持ち一杯でございます。

石田 謙造
卒業してからも、みんなや先生のことを忘れないでいきたいと思ふ。

母 誠子
謙ちゃん卒業おめでとう。先生長い間ありがとうございます。

鈴木 雅浩
六年間いろいろな事をごんばってきた。これからはがんばろう。

父 忠夫
中学進学後も今のすなおさんと清純さを失わない様ごんばって下さい。

蛭川 孝治
六年間の学校生活。ベースを守ってとつても楽しかった。中学でもがんばるぞ。

母 淑子
お蔭様にて卒業させて頂く事が出来ました。有難うございました。

広瀬 茂
この羽津小学校をよりよいきい学校造りをしてください。

父 常男
子供の在学中は先生方には大変お世話様に成り有難う御座いました。

清水 郁子
後一ヶ月半で小学生生活が終わり勉強勉強の中学生生活が始まります。

母 みね子
何事でもやれば出来ると言う先生の言葉を胸に刻み努力してほしい。

松永 紫
自分なりにいっしょうけんめいやった六年間。今私中学へ進みます。

母 富子
いつも自分でマイペースといっている紫。責任をもって言動を

相松万蔵子
今まで六年間の思い出を、いつまでも大切にしたいと思ふ。

母 さだゑ
遠い通学路、この六年間の事実は前途に必ずプラスになると信ずる。

松永真由美
わたしたちが、ひよこから育ててきたにわとりを 大事に育ててネ。

父 文夫
卒業おめでとう。新しいわが道に希望にむかって 進もう。

広瀬万智子
先生がたありがとうございます。中学校へ希望を持って前進します。

父 英
たいへんお世話になりました。

天野 雅人
中学生になっても、責任をもとうと思ふ。

母 郁子
明日に向って、大きな希望に燃えたくましく、前進して、ほしい。

黒田 充彦
中学生になっても、勉強や、運動に、はげもう。

母 佳子
苦しい事を乗り越える精神力を、養ってほしいと思ひます。

藤井 弘克
先生お世話になりました。今後も羽津小のためにがんばって下さい。

母 みさを
卒業を感謝して、これからは健全な精神と身体でがんばって下さい。

増田 勝巳
これからは小学校でおしえてもらったことを有効につかいたい。

父 登
苦しいことのもりこえる子供にしたい。

味香 和彦
これからも勉強に運動にがんばろう。

父 教
友情を大切に、自分の行動に責任をもて。

谷川 まり
小学校生活での思い出は、いつまでも大切に心の中に残しておこう。

父 健二郎
飛べよみな鳥 青空をのびやかにおゝらかに

永戸美由紀
とてもすばらしい六年間、ありがとうございます。羽津小学校。さようなら

母 成子
先生 お友達のみなさん、長い間ありがとうございます。今後よろしくね。

春木 瞳
小学校も卒業。今まで人にばかりたよっていた私。これからは一人

母 成子
中学校。母として重い気持ち、こしずつ物わかりがする年頃。

藤井 明子
六年間の経験をいかし、夢多い中学生となりたい。

母 巡子
愛とやさしい心を忘れず 成長を願う。

杉山 美樹
すばらしく美しくきれいな学校にして気持ちのよい学校にしたい。

母 芳代
春夏秋冬通いなれた学校を巣立って行く子らの上に幸多かれと祈る

久米 弘晃
下級生諸君もつとがんで日本一いい学校にしてください。

父 謙
六年間こんなに大きく身心共に育ち皆様のおかげと感謝致します。

北沢 武
楽しかった小学校生活さようなら。先生どうもありがとうございます。

母 美智子
体操服の処分に困っている。先生に繕って載いた鈎裂があるので：

菅原 雄輝
中学へ入学して、とてもうれしが、みんなと別れるのが悲しい。

父 武
常に明日のために努力する人に、そしてまっすぐ伸びて下さい。

野口 歩
小学校生活もあとわずか、残り少ない日々を大切にしよう。

母 祐子
小学校生活も、あと数少ない日々がんで、勉強しよう。

水谷 典子
お世話になった先生方この六年間どうもありがとうございます。

母 春代
先生本当に長い間有難度う御座居ました。心より御礼申し上げます。

住山 弘子
卒業しても学校が二百、三百周年といつまでも残っていてほしい。

父 政之
おぼえたことをもとにして力強く進んでほしい。

樋口菜穂子
勉強の苦しさを教えてくれた先生ありがとうございます。友よ友情をありがとう。

母 喜代美
希望と自信をもって自分の進むべき道を一心不乱

松下 顕子
いろいろ教えて下さった先生ありがとうございます。今年はりっぱに卒業します。

父 孝順
たくましく巣立ちゆく若駒の姿の中に諸先生方の大きな愛情を見る

矢守 和子
何度失敗しても、くじけず、希望をもって進んでいこう。

父 貞夫
小学校で学んだ事を、土台として大きく成長して下さい。

厚見 弥生
お世話になった先生方長い間ありがとうございます。ありがとうございました。

母 由紀子
羽津で成長した二人目も無事卒業出来まして心から感謝致します。

川本 珠子
六年間、私たちをささえてくれた羽津小学校、どうもありがとうございます。

母 かよ子
六年間の学校生活は良い思い出となるでしょう有難うございました。

岩田 林子
この六年間お世話してくれて、ありがとうございます。

渡辺 裕子
中学校へ行っても小学校生活の思い出を忘れない。

母 富美
いつまでも、すなおで、明るく、いてほしい。

吉原 みか
いろいろな思い出を残して、先生や友達と別れるのはさびしい。

母 すゑ
光陰矢の如く過ぎ去し日々素直で明るく成長する事を願ひます。

伊藤 里美
六年間の学校生活をいつまでも、大切に心に残しておきたいです。

母 礼子
楽しい日々の思い出の教々を心に又、母校を何時までも忘れずに。

母 英
たいへんお世話になりました。

清水 郁子
後一ヶ月半で小学生生活が終わり勉強勉強の中学生生活が始まります。

母 みね子
何事でもやれば出来ると言う先生の言葉を胸に刻み努力してほしい。

松永 紫
自分なりにいっしょうけんめいやった六年間。今私中学へ進みます。

母 富子
いつも自分でマイペースといっている紫。責任をもって言動を

相松万蔵子
今まで六年間の思い出を、いつまでも大切にしたいと思ふ。

母 さだゑ
遠い通学路、この六年間の事実は前途に必ずプラスになると信ずる。

松永真由美
わたしたちが、ひよこから育ててきたにわとりを 大事に育ててネ。

父 文夫
卒業おめでとう。新しいわが道に希望にむかって 進もう。

広瀬万智子
先生がたありがとうございます。中学校へ希望を持って前進します。

父 英
たいへんお世話になりました。

谷川 まり
小学校生活での思い出は、いつまでも大切に心の中に残しておこう。

父 健二郎
飛べよみな鳥 青空をのびやかにおゝらかに

永戸美由紀
とてもすばらしい六年間、ありがとうございます。羽津小学校。さようなら

母 成子
先生 お友達のみなさん、長い間ありがとうございます。今後よろしくね。

春木 瞳
小学校も卒業。今まで人にばかりたよっていた私。これからは一人

母 成子
中学校。母として重い気持ち、こしずつ物わかりがする年頃。

藤井 明子
六年間の経験をいかし、夢多い中学生となりたい。

母 巡子
愛とやさしい心を忘れず 成長を願う。

杉山 美樹
すばらしく美しくきれいな学校にして気持ちのよい学校にしたい。

母 芳代
春夏秋冬通いなれた学校を巣立って行く子らの上に幸多かれと祈る

住山 弘子
卒業しても学校が二百、三百周年といつまでも残っていてほしい。

父 政之
おぼえたことをもとにして力強く進んでほしい。

樋口菜穂子
勉強の苦しさを教えてくれた先生ありがとうございます。友よ友情をありがとう。

母 喜代美
希望と自信をもって自分の進むべき道を一心不乱

松下 顕子
いろいろ教えて下さった先生ありがとうございます。今年はりっぱに卒業します。

父 孝順
たくましく巣立ちゆく若駒の姿の中に諸先生方の大きな愛情を見る

矢守 和子
何度失敗しても、くじけず、希望をもって進んでいこう。

父 貞夫
小学校で学んだ事を、土台として大きく成長して下さい。

厚見 弥生
お世話になった先生方長い間ありがとうございます。ありがとうございました。

母 由紀子
羽津で成長した二人目も無事卒業出来まして心から感謝致します。

六年 四 組

前田 英作

これから、もっとたくさん勉強すると思うと、いやになるなアー

母

思い出を秘めて羽ばたく中学へ、希望に胸をはずませ、強く巣立て

後藤 覚

いよいよ中学校。これからは、規律正しい生活をおくろう。

母 信子

卒業おめでとう。先生の御恩を忘れず、今後もがんばって下さい。

久保田雅仁

卒業ばんざい、中学生になってもがんばるぞ。

母

長い様で短い六年間思い出胸に進学でき先生方お世話になりました。

藤井 義裕

諸先生がた、ありがとうございます。でも、健康で、がんばります。

父 賢一

健康で正直で心のがめるような事をせず勇気があって辛抱よく。

幸原 隆徳

楽しかった六年間の思い出を忘れないようにしたい。

父

転校して来て四年教ヶ月小学二年の小さなぼくも今年から中学生

坂倉 玲次

小学校生活の、思い出を忘れずに、中学校へ行ってもがんばろう。

母

志氏の里 今春巣立ちゆく ひな鳥よ 山手の空に 思いきり飛べ

館 亮次

たのしかった学校生活、六年間の思い出をたいせつにしよう。

父

卒業おめでとう。さあ今年中学生、人間性、豊かな子供になってほしい。

橋本 正

中学校になっても小学校以上がんばりたいと思う。

母

長いようで短かった六年間先生方本当に有難うございました。

安田 哲也

卒業して、中学生になっても、勉強に運動にがんばっていきたい。

母

先生方の御指導御努力によって、卒業できることを御礼申し上げます。

酒井 修

今まで、教えてもらった先生方の

好意をむだにせずにごん張ります。

父 光紀

素直で誰からも愛され信頼される子供に育て下さい。

柏木 隆寛

もう少し中学生、どんな組になるか楽しみだ。

父 斉

今日を捕えよ 明日ありと信ずるなかれ。

三好 秀明

ぼくは、自分が やったことは、さいごまでやりとげたいと思う。

父

中学校に入学しても 一直線に、わき目もせらずに頑張ること。

久志本貴透

卒業ばんざい、中学校になっても、がんばろう。

父 昭男

卒業おめでとう。中学生は知育体育徳育を目標にがんばりましょう。

林 三夫

卒業まで、もうあと二ヶ月いっしょうけんめいがんばろう。

母

小学生時代の思い出を親子いっしょにいつまでも語りあえるように。

安田 竜彦

もう後二カ月で卒業だ。最後の小学校生活をきちんとしよう。

母 克子

卒業おめでとう。元気に健やかにそだつ事を祈ります。

久志本 功

わが愛する羽津小学校よさようなら。中学校へ行っても体に気をつけて勉強にはげんでほしい。

父

小学校生活も、もうすぐ終る。中学校へいってがんばりたい。

小松 竜二

いつも何が正しいかを考へ、心の大きな人になってほしい。

柴田 工

卒業ばんざい 中学校に行ってもがんばるぞ。

父

卒業おめでとう。中学へ行っても体に気をつけてほしい。

森 智司

ぼくは、中学になったら、勉強や運動にがんばりたい。

父

中学校こそ自分の力を大いに発揮する所だ、頑張ろう。

の が て し

別所 健治

先生、六年間ありがとうございます。中学生になってもがんばります。

母 一美

卒業おめでとう、さあファイトでがんばろー君達 交通安全も

岩花 英樹

中学生になっても小学校で学んだことをわすれず、がんばります。

母 紀芳

人にまけても 自分に負けるな

西村 顕治

僕はこの羽津の学びやで学んだことを中学生生活で活かしたいと思う。

母

なじみのない土地への転校でしたが、明るい一年が過ぎた事に感謝

藤井 康弘

強く正しい 道を、一步、一步、学びたい。

父 実

大きな夢と希望を持って、中学生生活に進んでほしい。

久保 由起

楽しかった六年間。今までの思い出を大切に、中学校へ

母

健康で卒業おめでとう。先生有り

山川真知子

この六年間の生活を生かして、これからがんばりたいと思います。

橋本 房子

ヤッホーとうとう卒業。でも、うれいようでなぜか不安だ。

父

山下千枝里

初めて学問を学んだこの六年間の楽しい思い出をいつ迄も大切に。

木村 まり

六年間の思い出を忘れずに、がんばろう。

父

藤嶋 雅子

わたしに楽しい思い出をつくってくれた羽津小学校、さようなら。

後藤 容子

小学校にくらべて、勉強が中学校にはいるとむずかしくなるのか。

母

中条 千博

校庭の思い出ある、松、桜よ、この雄大な姿を、いつまでも。

父

母校の名をよごさず誇りを持って立派な中学生になって下さい。

宮嶋くに子

私は、これから卒業していきます。今まで、羽津小学校ありがとうございます。

森 美千代

六年間は短かい学生生活であり母に対しては大人になった。

母

服部 祐子

小学生時代の思い出は、中学生になっても、忘れないだろう。

竹内かおり

数多くの思い出を残し卒業して行く私の心は喜びと不安で一杯。

父

長い様で早かった六年間、御世話になった諸先生に感謝をこめて：

山本 洋子
中学生生活を、精いっぱいがんばっていきたいと思います。

宮田 優子
楽しかったグリーンスクール。おこられたこともよい思い出だ。

新谷 三佳
何よりも健康であることを望みます。

新谷 三佳
一生は階段。小学校は最初の階段さあ落ちてきて次を登ろう。

南川 ゆかり
すばらしい思い出中学校に行っても忘れません。羽津小学校バイ

古川 るみ
長く短い六年間。心をこめて、さようなら。

羽津小学校の発展と繁栄を、お祈り致します。

六年五組

加藤 誠美
先生、長い間ありがとうございました。中学に行ってもがんばります。

岡山 光晴
卒業おめでとう。中学に行っても小学校教育を基礎に頑張ってください。

堀川 浩
思い出のランドセルよ、さようなら、新しい気持ちでがんばる。

寺本 学
六年間ありがとう。中学校へいっても精いっぱいがんばります。

本谷 彰彦
中学生になっても、がんばろう。

小井 延安
やろうと思った事を、いっしょけんめいやりたい今体操の選手にたくましく、やさしく、平凡に。

青井 秀一
先生ありがとう。教えを守り、これからもきつとがんばります。

田中 利幸
悲しいこと苦しいことがあってもがんばります。さようなら

伊藤 幸子
明日は希望過去はみな思い出六年間の門をくぐり一歩ずつ前進。

森 康哲
長いと思えば短い六年間。思い出

佐藤 祐
中学校にいても勉強やスポーツにがんばる。

堀川 淳也
先生、六年間と言う長い間どうもありがとうございました。

直江 智
六年間の思い出友達を大切に健康で勇気ある中学生になって下さい。

勝美 智
小学校で学んだ事を、十分に、活用して大いに活躍を期待します。

小沢 茂基
この六年間の間には、たくさん思い出が、ありました。

伊藤 薫
もう中学校なので遊ばなくなりそう、さて勉強がいそがしくなるぞー

松崎百合子
小学校生活六年間は、中学へ行くのもけっして忘れないでしよう。

輝夫 文雄
小学校生活を生かし、りっぱな中学生になって下さい。

岡田 明子
新校舎の六一五の教室、放送室、給食室、百年の松、忘れません。

藤井 あつ子
頑是無かった子供達もよく育ち先生方の賜と感謝致して居ります。

藤井 文雄
私の目には、新しい道がひらけてきた。新しい気持ちで出発。

前島 里美
六年間いろいろお世話になりました。これからはがんばります。

昌子 文雄
強く明るく正しい、よい思い出を作る人生を歩んで欲しいと思う。

笹岡 邦清
卒業おめでとう。もう中学生ですから、自分の事は計画を立て進もう。

荒木 勝也
さあ 中学校だ。明日からは、一日一日を 大切に すごそう。

柴田 俊哉
卒業おめでとう明日への希望を持ち力強く前進して下さい。

博史 博史
小学校生活での楽しい思い出をいつまでも忘れない。

伊山 修
六年間いろいろありますがどうぞございました。これからもがんばります。

古川 元也
勉強し努力しまじめな中学生として多くのことを学びます。

星野みどり
六年間楽しかったことを中学でも楽しくやりたいと思います。

藤井 猶子
六年間たくさんの先生にお世話になり立派に羽津小学校を巣立つ。

三保子
どんな困難にも負けず最後迄やりとげられる中学生になってほしい。

松原真紀子
この学校に転校して来てから楽しい事悲しい事いっぱいありました。

邦夫 邦夫
まなびやでの経験を一生忘れない人間に成長させたいものです。

森 佐和美
数々の思い出を残してこの学校とお別れ。さようなら

服部由美子
もうすぐ卒業、中学校になっても努力して、がんばろう。

達明
すこやかに 育った 我が子を、見守り 六年間

山本 洋子
中学生生活を、精いっぱいがんばっていきたいと思います。

宮田 優子
楽しかったグリーンスクール。おこられたこともよい思い出だ。

新谷 三佳
何よりも健康であることを望みます。

新谷 三佳
一生は階段。小学校は最初の階段さあ落ちてきて次を登ろう。

南川 ゆかり
すばらしい思い出中学校に行っても忘れません。羽津小学校バイ

古川 るみ
長く短い六年間。心をこめて、さようなら。

羽津小学校の発展と繁栄を、お祈り致します。

六年五組

加藤 誠美
先生、長い間ありがとうございました。中学に行ってもがんばります。

岡山 光晴
卒業おめでとう。中学に行っても小学校教育を基礎に頑張ってください。

堀川 浩
思い出のランドセルよ、さようなら、新しい気持ちでがんばる。

寺本 学
六年間ありがとう。中学校へいっても精いっぱいがんばります。

本谷 彰彦
中学生になっても、がんばろう。

小井 延安
やろうと思った事を、いっしょけんめいやりたい今体操の選手にたくましく、やさしく、平凡に。

青井 秀一
先生ありがとう。教えを守り、これからもきつとがんばります。

田中 利幸
悲しいこと苦しいことがあってもがんばります。さようなら

伊藤 幸子
明日は希望過去はみな思い出六年間の門をくぐり一歩ずつ前進。

森 康哲
長いと思えば短い六年間。思い出

佐藤 祐
中学校にいても勉強やスポーツにがんばる。

堀川 淳也
先生、六年間と言う長い間どうもありがとうございました。

直江 智
六年間の思い出友達を大切に健康で勇気ある中学生になって下さい。

勝美 智
小学校で学んだ事を、十分に、活用して大いに活躍を期待します。

小沢 茂基
この六年間の間には、たくさん思い出が、ありました。

伊藤 薫
もう中学校なので遊ばなくなりそう、さて勉強がいそがしくなるぞー

松崎百合子
小学校生活六年間は、中学へ行くのもけっして忘れないでしよう。

輝夫 文雄
小学校生活を生かし、りっぱな中学生になって下さい。

岡田 明子
新校舎の六一五の教室、放送室、給食室、百年の松、忘れません。

藤井 あつ子
頑是無かった子供達もよく育ち先生方の賜と感謝致して居ります。

藤井 文雄
私の目には、新しい道がひらけてきた。新しい気持ちで出発。

前島 里美
六年間いろいろお世話になりました。これからはがんばります。

昌子 文雄
強く明るく正しい、よい思い出を作る人生を歩んで欲しいと思う。

笹岡 邦清
卒業おめでとう。もう中学生ですから、自分の事は計画を立て進もう。

荒木 勝也
さあ 中学校だ。明日からは、一日一日を 大切に すごそう。

柴田 俊哉
卒業おめでとう明日への希望を持ち力強く前進して下さい。

博史 博史
小学校生活での楽しい思い出をいつまでも忘れない。

伊山 修
六年間いろいろありますがどうぞございました。これからもがんばります。

古川 元也
勉強し努力しまじめな中学生として多くのことを学びます。

星野みどり
六年間楽しかったことを中学でも楽しくやりたいと思います。

藤井 猶子
六年間たくさんの先生にお世話になり立派に羽津小学校を巣立つ。

三保子
どんな困難にも負けず最後迄やりとげられる中学生になってほしい。

松原真紀子
この学校に転校して来てから楽しい事悲しい事いっぱいありました。

邦夫 邦夫
まなびやでの経験を一生忘れない人間に成長させたいものです。

森 佐和美
数々の思い出を残してこの学校とお別れ。さようなら

服部由美子
もうすぐ卒業、中学校になっても努力して、がんばろう。

達明
すこやかに 育った 我が子を、見守り 六年間

松川 真澄
先生、六年間いろいろありがとうございました。
母 まつ子

小畑 知子
いろいろな事があったこの六年間いつまでもいい思い出になるよう。妹には優しいお姉さんしかし自己には常に厳しさを忘れずに頑張れ

久志本あけみ
六年間学び思い出多き学校。これまで育てて頂いた先生ありがとうございます。素直で明るい子に成長してほしいと思います。

早福 好子
六年間たくさんのお蔭で無事に学習できたことを深く感謝致します。

古市 美和
小学校で学んだ事をもとにしてこれからのがんばっていききたいです。六年間諸先生方のお蔭で無事に学習できたことを深く感謝致します。

前川 敏子
六年間の思い出を胸に私は今中学校への想いに胸がふくらんでいる。過ぎ越し六年間の想いが今胸をよぎります。ほんとうに有りがとう。

久志本真理子
六年間の思い出をたいせつにして中学校へ進みたいと思います。小学校で学んだことを無駄にせず更に知識の向上に励む事を望む。勇氣・努力・信頼・友情でがんばろう。

原田 美香
小学校生活ももう終り、中学生になっても努力してがんばろう。卒業おめでとう。いつまでも先生や友達を忘れないでがんばって。

伊藤 尚子
友情を大切にもち中学校に進学積み重ね、積み重ね、積み重ねの人生、努力を持って頑張ろう。四月には、中学校へ進学。希望に胸をふくらませてがんばろう。卒業おめでとう。どんな事にも負けず、目標に向かって頑張ってください。

専門部だより

今年度の反省

安全部の一年間の反省

安全部長 藤井 薫

五十一年度PTA活動発足と、同時に、安全部長という大変な役を負い、早一年が過ぎ去ろうとしております。

今年度は新しく羽津地区交通少年団が発足し、九月には結団式が行なわれ十月十日第一回の訓練が行なわれました。大いに活躍して行きたいと思っております。

前年通り七月六日、八日迄自転車点検が行なわれました。男子ではサイクリング車が特に多く、これから先、自転車の安全に付き、会員全体の話し合いを持ちたい。

今年度の目標通り北警察署並びに安全協会、安全部部長 先生方の御協力により夏休み前安全教室を開いて載きました。にもかかわらず、PTA会員の皆様の出席がなくて残念に思いました。来年度はせっかく、色々な行事を開いて載いても、役員さん委員の方々まかせにせず、会員の方々全員が協力して載だく事を願

います。

立哨について一言
新学期を迎えるたばにおき、問題多い立哨について、来年度は会員全体で活発な意見を話し合う機会を持ってほしいと思う。最後にこの一年間いたらぬ私に暖かい御支援御協力、誠に有難うございました。

福祉保健部より反省

福祉保健部長 山本 逸三

部長と言う大役を受けましたが福祉保健部の行事も部員さん始め本部・PTA・の皆さん諸先生方の御協力を得まして、無事に終ることが出来本当に有難うございました。

さて最初の「しでがの」で色々今年度の行事の計画を発表致しましたが、結局親善球技大会が雨で流れた為「バザー」(母親部と合同)と「給食試食会」(母親部と合同)の二つの行事に終りました。

特に「バザー」は部員さん本部の皆さんには早朝よりお世話にな

母親部を顧りみて

母親部副部長 服部 京子

顧りみまずに、母親部に今年度初めて入部致しましたが、家庭の都合で、あまり出席する事が出来ませんでした。私で御座居ますが、一言、手芸教室等、いわゆる会員相互の親睦を深める為に活動されている意味は、わかりますが、母親として、もっと、もっと、考えなければならぬ事が沢山ある様に思いました。母親のナルシストが、児童、生徒の喜怒哀楽を無くしている様にさえ思われます。

各サークル別に、あらゆる角度から、学問ばかりでなく、育成面での話し合いの場を作って研究したらどうか、と思います。どんな会でもそうだと思いますが、会員が、出来るだけ沢山、喜んで、参加し、どんなことでも話し合っ

たいと思わない親はありません。私達の子供を、より以上立派にしたいと思わぬ親はありません。P・T・Aとは児童、生徒の幸福増進のために、両親と、教師が、協力する会であり、感情ゆたかなちつじよある明るい学園を作る為に努力しなければ、ならない。母親部としては、P・T・Aの主眼から、はなれないで、会員が、出来るだけ沢山、喜んで参加出来

りおかげをもちまして、非常な好成绩を取ることが出来、売上金で学校の教育設備がより一層充実されること、思います。

最後に今年度の親善球技大会はあいにくの雨で中止になりましたが、来年度は体育向上の為又お互いの親睦の為にも是非実行して頂きたい行事の一つと思えました。

美への期待

環境整備副部長 山本 俊一

PTA、羽津第一の町代表に選出されて、学校に対して日頃無縁の私でしたが、PTA関係、又、青少年協、少年野球、其の他学校への集会の機会が多くなりました。其の都度学校に立ち寄る機会が重

月日のたつのは早いものです。「しでがの」を担当して早や一年、その間「しでがの」作りの大変さが身にしみてわかりました。PTA会員の声をたくさん

載せる様に、立派なポストを置きました。が結局一枚も原稿が入ってありませんでした。今年のでがの部の方は全員が新顔で副部長さんを中心に、私もはりきって協力しようと思っ

なる。つれて、多くの先生との面識を得、担任の先生との学習に関する対話の機会を得て、親の知らなかつた一端を指摘され、親として助言を会得し得て、子供の成長に光を与えられた次第です。そうして、私に取って初めて経験した、意義ある年でありました。

町代表、町委員、学級代表で構成されている、PTA活動目的達成の五専門部会の一つ、環境整備部会に私は入部しました。環境整備部長に、羽津第一の森憲一君、副部長に私が選出されて、環境整備部は活動する運びとなりました。まず、森部長の発案により環境整備部記念にと、学校北門両側にモクレンの木を記念植樹しました。

環境整備部は活動する運びとなりました。まず、森部長の発案により環境整備部記念にと、学校北門両側にモクレンの木を記念植樹しました。

五一年度、環境整備部発足を待ちかねていた様に学校側より、整備計画(学校案)十項目の提出を受け、部会で見直し、又、下見分し、森部長の作業計画にもとづいて行なわれました。

永年の念願であった学校管理棟も完成し、奉仕がいのあった年でありました。その一つ一つの成果が形となって表わされる楽しさ、又、想い出を残してくれた環境整備部に入部していただき感謝無量です。環境整備部の皆さん、御協力本

当にありがとうございます。次年度も機会がありましたら環境整備部での再度の活躍も御願いたします。

新しい委員さんも環境整備部に入ら……窓の外は雪が降っている……でも私自身何も出来なかつたけど、とても勉強になりました。子供が「しでがの」新聞を持って帰ると、私は宝物のように、大切に読み又しまいます。

「しでがの」を担当して

「しでがの」を担当して

小川 光子

の日最後と悪い学校へ……又今日も二人この広い図書室もひっそり……一年間いつも三、四人……どうして出席して下さらないのか

昭和 51 年度 P T A 会計中間報告 1 月末現在

歳 入

P T A 会費	1,394,350
前年度繰越	10,197
利息	2,584
合計	1,407,131

歳 出

款	項	予 算 額	支 出 額
P T A 事務費		245,000	203,170
	交 際 費	70,000	69,800
	需 要 費	30,000	25,720
	会 議 費	5,000	3,000
	役 務 費	30,000	12,000
一 般 活 動 費	負 担 費	110,000	92,650
		285,000	120,942
	賃 金	5,000	年度末支払い
	報 償 費	40,000	34,150
	旅 費	60,000	年度末支払い
児 童 福 祉 活 動 費	需 要 費	180,000	86,792
	報 償 費	70,000	58,150
	旅 費	7,000	6,700
	需 要 費	100,000	△ 120,000
学 校 管 理 援 助 費	負 担 金	40,000	40,000
		285,000	195,735
	需 要 費	110,000	56,562
	役 務 費	70,000	51,500
教 育 振 興 援 助 費	備 品 費	10,000	△ 10,600
	負 担 金 及 び 交 付 金	95,000	77,073
		330,000	188,310
	報 償 費	20,000	△ 21,510
予 備 費	旅 費	70,000	22,150
	需 要 費	200,000	120,550
	備 品 購 入 費	40,000	24,100
	予 備 費	13,197	0
合 計		1,375,197	933,007

る様に活動して行ってほしいと思
いました。

省えりみて思うこと

文化部長 柏木 隆子

月日の経つのは早いもので、羽津小学校のPTA会員になって、十二年が過ぎようとしている。その当時は、常任委員会に行く学校の会議室に酒や料理が用意され、女子会員が給仕する慣わしであった。間もなく茶菓に切り替えてもらい、やがてそれもお茶だけになったが、けれども会が終わると役員(特に会長)が気をきかせて先生や役員を接待するのが、当り前のように思われ、会長になれば年間の接待費が相当の額になったらしい。先生の中には露骨に催促したり、役員の中にも「今度の会長はけちだ。」と批判する人がいた。又、何処から費用が出るのか役員会の度に、寿司や、井物が出るので費用の出所をたづねたりお金を払うといやな顔をされ、学校から足の遠のいた時期もあった。先生も父兄も、お互いの立場を理解しあっておれば、父兄が先生に酒食を持て成したり、会長が役員に振舞うことは通常の場合必要ないことだ。もし必要があれば会費を出してすればよい。ましてやPTA会費で食事を出したり、宴会の費用を出すことは絶対に止めて

欲しい。当り前のことが何年たってもその年その年の顔ぶれによっておかしくなるのである。役員の一入として、この一年は誠に歯痒い思いをした。特に要職を引き受けた人は、いくら忙しくても会則をよく読み、組織を頭の中へよく入れて会の運営をしていただかないと団体活動の初歩的なことで問題が起り、問題が起ってからその場その場の思いつきの返答とルーズさで日がたつてしまいい、役員が多くにやる気を無くさせたのではないだろうか? 私は何だかいやなことばかり書いたようだが、よいPTAにするには会員の一人一人に学級活動、町別活動を通じてどんな意見を出していたらよき、その声によって会の運営をしていかないと、寄附団体、奉仕団体に終ってしまい、学校、家庭、社会の相互の連絡を密にし、児童の育成と福祉の増進を計る。と言う本来の目的が薄らぐように感じられる。百年の歴史の上に、新しい校舎も完成したことでもあるので、これからは一層教育の内容にも留意し質のよい先生に、安心して子供を教育していただけるよう、皆様の活躍を期待します。

各 部 年 間 行 事

	文 化 部	母 親 部	環 境 整 備 部	安 全 部	福 祉 保 健 部
4 月					
5	しでがの編集会議② 部 会	部 会 (2 回)	環境整備作業 植樹、花壇作り、その他 部 会	部 会	部 会
6	しでがの 54 号発行 授業参観と懇談会 しでがの編集会議①	手芸教室		部 会	
7	しでがの編集会議② しでがの 55 号発行	手芸教室 料理講習会 部 会		自転車点検 立哨委員会	
8		手芸教室 (2 回)	校地整備作業全会員		
9		手芸教室 (2 回)			部 会
10	両親学級と講演会	食品工場見学 放送利用学習 (団体視 聴) 福祉・母親合同部会 給食試食会、手芸教室 (4 回)	部 会 環境整備作業 花壇芝植え、その他		部 会 球技大会 給食試食会
11	やきもの教室 しでがの編集会議②	バザー 手芸教室			バザー
12	しでがの 56 号発行	手芸教室 (2 回)			
1	しでがの編集会議①	手芸教室 (2 回)			
2	しでがの編集会議② 授業参観と懇談会	手芸教室 (2 回) 放送利用学習 (個人視聴)			
3	しでがの 57 号発行				

会計監査から

ひとこと

会計監査 松岡 純子

皆さん、PTA会費がどの様に使われているかご存じでしょうか。会費は規約に決められている目的、方針に基づいた年間計画に従い、団体として活動するための経費として使用されるものであり、しかも総会が承認した予算に基づいて支出されるものであるはずですが、

しかし現実には、PTA会費は会員である父母自身のために使用されるといふよりも、児童ないし学校運営のための援助的な性質を持つていふものが多いのです。

私達は、予算はPTAの運営活動費と学校後援費の二つに大別し、本年度の総会でも指摘されたように、その比率は前者に重く、後者に軽い予算編成とし、年度末に予算委員を置いて、次の二点に留意して編成すべきであると思います。

1. 本年度 また過去のPTAの活動状況や予算の用途について 充分な反省と検討をする。
2. 教育委員会の教育予算の概要とか公費配分の状態を研究した上で、先生方の意見も充分に聞きながら、予算概要を組み立てる。毎年毎年役員が改選される毎に元に戻ってしまうというのではな

く、今後は地区活動、学級活動にも予算の裏付けをし、活発な活動を期待します。また役員の中にも会費の用途について正しい理解を持たず、総会の承認もない食事等に使用しようとした事もあり、誠にとおどろいた一年でありました。

まだ監査が終わったわけではございませんが、自分なりに職責を果たすつもりでございます。会員皆様のご協力をお願いいたします。

会費の用途につきまして、会計報告をよくごらんください。

常任委員会だより

去る十二月十三日午後七時より第八回常任委員会が開催されましたのでその御報告を致します。

一 会長挨拶

三 協議事項
a 本年度の反省 (各専門部)

各部とも当初計画された事業も皆様の御協力のおかげで大体消化できた旨、報告されました。

b バザーの収益金について
c その他の報告事項
d モチ切りの依頼について
e 学校行事報告 (教頭より)

十二月、一月分 三 学校長挨拶

以上。

第九回常任委員会報告

去る一月十二日第九回常任委員会が開かれましたのでその御報告を致します。

一 会長挨拶

二 その他の報告事項

● 二月末日までに各町で新町委員、町代表さんを選出してもらって学校へ報告していただく。

三 学校行事報告

四 学校長挨拶

第十回常任委員会報告

去る二月七日午後七時より第十回常任委員会が開催されましたのでその御報告を致します。

一 会長挨拶

二 協議、報告事項

a 二月の専門部行事報告

(文化部) 本年度最後の授業参観並びに懇談会を行う。

(母親部) 手芸教室

(安全部) 立哨委員会

三 学校行事報告 (二、三月分)

四 その他

◎ スポーツ少年団の件で二月十五日に役員会を開いてその運営について相談する。

◎ 新年度町委員選出の結果報告 (学校へ) 二月末日ですのでよろしく。以上。

ですくさいど

○ きびしい寒さ続きの今年の冬ゆえに、いっそう春が待たれるこの頃です。

○ あっという間に一年がすぎました。編集委員全員未経験者でしたので、とまどいつつ、手さぐりしながら、ようやくこぎつけたという思いです。

○ 協力下さった皆様には、心からお礼申し上げます。

○ 〃〃〃の〃編集を通じ、いろいろ勉強させていただき、また考えさせられる事も多くありました。

○ 一人一人の会員が無関心にならず、PTAはどうあるべきかよく考え、ともかく参加することがPTAを良くすると思います。皆が責任を自覚しなくては、と強くうたったえたいと思います。

○ 投書箱に集団登校時いじめられて困るとの訴えがありました。

今後このような事のないように、また暴力に屈せず訴える勇氣と、それにもましてまわりの子の「君子危きに近よらず」でなく注意する勇氣がのぞまれます。

○ めぐりくる季節が、卒業生にも在校生にも「希望の春」となりますように。

編集委員 (アイウエオ順)

P 岩脇 小川 大森 寺本
堀川 光本 森 (国) 森 (守)
T 内山